

NIKKAN VARIETY Nバラ

あの時あの人

タイガースは
ビートルズと
肩を並べるんだ、と

今回の「あの時あの人」は、ザ・タイガースです。1967年(昭和42)2月に「僕のマリー」でデビューし、71年に解散するまでグループ・サウンズ(GS)の頂点に君臨しました。今年12月に44年ぶりにオリジナルメンバーで復活し、東京ドーム公演などを行います。デビュー直後の写真をもとに、ドラマでリタイアした瞳みくる(66)が、世界を見据えていたザ・タイガースの原点を語ります。

活発な時代

【笹森文彦】

懐かしい写真ですね。覚えていませんが、壁に落書きがありましたから、ジャズ喫茶などここの楽屋でした。解散10年後の81年に同窓会と称した再活動には、慶応高校教師だった僕は不参加で、11年に沢田研二のツアーに僕が同行した際には加わってみたいと思った。だから、12月のコンサートで5人がそろったのは44年ぶり。岸部四郎も含めて6人全員がそろったのは初めてですから、今からどうなるか、心配でもあるし、楽しみでもあります。

オリジナルメンバーです



内田裕也にスカウトされ
ザ・タイガース 瞳みくる
(64、シブリー)ベール

岸部修三(65、サリール)後、一徳に改名。リードギター。1967年、岸部修三の弟の岸部シロー(63、シロー)が加入。68年に後援球場でデビュー。ロック

歌手の内田裕也(73)がスを行った。71年1月に日本武道館公演で解散。何度か再集結して活動したが、5人のオリジナルメンバーがそろったのは69年以来44年ぶりとなる。

海外席巻?

タイガースはよく「日本のビートルズ」と言われます。僕はバンドを始めるときから、世界を見ていました。傲慢(ごうまん)な言い方かもしれないけど、「ビートルズと肩を並べるんだ」と思っていました。他のメンバーはともかく、僕は日本のビートルズなんて言われ方はされなかつた。デビューしたころ、中国は文革時代で、香港はそのおかげで中国の意向をうかがっていたし、台湾も韓国も緊張状態、それぞれ国家としての余裕がなかった。今は余裕があるから、S.M.A.Pも中国に行っている。サトウがでる。すごい。うらやましいですね。もし僕らの時代がそうだったら、少なくとも東南アジアは席巻していたと思います。

曲が口曲

解散後、僕は芸能界と一切の関係を絶ちました。が、11年に約40年ぶりに沢田と一緒になって、分かったんです。当時の曲が僕らを守ってくれているのだと。僕らの代表曲を手掛けた作曲家のすぎやまこういちさんが、ポップスでも歌謡曲でもなく、新しいジャンルの曲を作ったんだということ。よくよく分かってきました。タイガースの曲は古典になっているように感じます。

日本です

「日本の言われたくはなかった」

ベスト2枚2月発売

瞳が監修したザ・タイガースのベストアルバム「THE TIGERS 1967-1968 RED DISC」と「1968-1971 BLUE DISC」の2枚が、ユニバーサルから2月20日に同時発売(各2500円)される。

オリジナルメンバーが監修した同グループのベストアルバムは初めて。前者は典型的なGS時代の楽曲集で「僕のマリー」「シーサイド・パウンド」「モナリザの微笑」「君だけに愛を」「花の首飾り」「シー・シー・シー」など20曲。後者は「青い鳥」「嘆き」「スマイル・フォー・ミー」「素晴らしい旅行」など、シローが新加入後の楽曲を中心に21曲が収録されている。

瞳は「タイガースの楽曲はいろんなバリエーションを持っていた。一緒に歩んだ団塊の世代の方はもちろん、その前後の世代にも聴いてもらいたい」。ちなみに、ザ・ビートルズもベストアルバムをREDとBLUEに分けて大ヒットしたが、瞳は「関係ありません」と笑って否定した。

戯曲挑戦 瞳は「OPEN YOUR EYES〜あなたの瞳に輝きを〜」と題したイベントを2月8日に東京・日本青年館、同11日に京都・シルクホールで行う。サブタイトルは「虚実の夢」で、第1部は「虚」にあたる戯曲「瞳みくるの面白伊勢物語・東下り」。原作・出演に挑戦し、京劇と日本舞踊のコラボで表現。2部の「人間味あふれる中国詩人たち」は「実」で、中国の詩人の人間性に迫る。

歴史的1枚
岡山で巨人V
年10月7日、岡山県立球場で優勝が決まりインタビューを受ける巨人川上監督。雨の中、強行された阪神戦でリードされていたが、中日が敗れV3が決定した



ツィッギー来日 ◆1967年の出来事 第2次佐藤栄作内閣。東京都知事選挙に美濃部亮吉氏当選、初の革新都知事誕生。日本初の本格的男性化粧品「MG5」(資生堂)発売。ツィッギー来日でミニスカート旋風。テレビで「リボンの騎士」「ウルトラセブン」「スパイ大作戦」放送開始。洋画は「俺たちに明日はない」「卒業」が公開。プロ野球はセ巨人(日本一)パ阪急。第9回日本レコード大賞「ブルー・シャトウ」(ジャッキー吉川とブルー・コメッツ)。